



第19号

平成22年2月28日 発行
発行 聖パウロ学園内局
事務 同窓会事務局
〒525-8566
草津市野路町178
☎077-564-5600
FAX 077-564-5136
www.kousen.ed.jp

会長挨拶

会長 和田 充史



寒さの中にも春の兆しを感じられる今日この頃、同窓生の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

部は日本ユース陸上選手権男子棒高3位入賞、バスケットボール部は7連覇を果たし全国大会出場、テニス部は県完全優勝を果たしインターハイ総出場、アイスホッケー部は2年連続インターハイ出場、ラグビー部は2年連続花園出場など、母校の隆盛は、同窓会・同窓生にとりましてこの上ない喜びであり、誇りに思っております。今後、同窓会は、日々の厳しい練習の中で成果を挙げていくクラブに關しては積極的に支援し、より母校が発展していくための手助けをしていこうと考えております。

昨今、世間では、不景気から広がる雇用問題が大きく取り上げられ、この荒波を超え、将来立派な人間として社会で飛

躍できる人間形成、つまりは教育に対する期待や関心も大きくなっていきま

な夢を実現することのできるのではないのでしょうか。私事ではございますが、昨年から社会人になりました。仕事柄多くの方々と接する機会が多くなり、人との繋がりがや出会いの大切さを日々実感しております。出会うは新たな価値

る光泉ネットワークの構築」という三つの取り組みを実践することであると考えるています。このよう

な取り組みによって創立当初からの目標である「滋賀に光泉あり！」という大きな夢を実現することのできるのではないのでしょうか。

同窓会の皆様方には、益々ご清栄にてご活躍のこととお喜び申し上げます。平素は本校の教育に格別のご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。この度、同窓会新聞を発行させていただきますことを心よりお祝い申し上げます。

本学園は、一昨年の10月に創立20周年を迎えて、学校設立当時からお世話になった多くの方々に

先輩方が築いてこられた素晴らしい校風を受け継ぎ、在校生は勉強に部活動に活躍をして多くの成果を挙げてくれています。中学高等学校の全生徒数は1,200人強となりました。

生徒たちは勉強や部活動で大いに活躍をしています。進学の面では国公立大学、私立大学に多くの生徒が合格し、そ

新武道場と人工芝テニスコートが完成しました

名誉会長 馬場 勲



観や考えを生み出し、人としての成長を促すものだと思っております。あの時あの人と出会っていな

ればという出会いが誰にしもあるはずで

にも提供できるような光泉ネットワークの構築に力を注ぎたいと思っております。しかし、こうしたこ

とは同窓生の皆様のお力添えがなくてはできません。同窓生の皆様に、今後とも光

泉中学高等学校の発展に向け、これまで以上の御支援、御協力を賜ります様お願い申し上げます。

来賓としてお迎えし、記念式典を挙げて、併せて記念事業の内容も紹介し盛大に記念式典を終えることができ、次への飛躍の出発としてスタートいたしました。

この3月に卒業した生徒を含んで、これまで約4,500人の高校卒業生を世に送り出し、多くの先輩が社会で活躍されておられますことは大変うれしいことです。

また、一方では体育系、文化系の部活動に力を注ぎ大きな成果を挙げてきました。男子バスケット部は、滋賀県代表として連続全国大会に出場を果たし全国へ

目指していきたくらいの素晴らしい学校づくりを

考えています。施設設備の面では、創立20周年記念事業の一環として計画していた人工芝のテニスコートが昨年7月完成し、また今年2月15日(月)に武道場完成の竣工式を挙行いたしました。この間に物心両面にわたる同窓会の皆さん、ご協力を心から

☆母校が発展しています☆



テニスコートができました



新武道場ができました

先輩方が築いてこられた素晴らしい校風を受け継ぎ、在校生は勉強に部活動に活躍をして多くの成果を挙げてくれています。中学高等学校の全生徒数は1,200人強となりました。

生徒たちは勉強や部活動で大いに活躍をしています。進学の面では国公立大学、私立大学に多くの生徒が合格し、そ

目指していきたくらいの素晴らしい学校づくりを

考えています。施設設備の面では、創立20周年記念事業の一環として計画していた人工芝のテニスコートが昨年7月完成し、また今年2月15日(月)に武道場完成の竣工式を挙行いたしました。この間に物心両面にわたる同窓会の皆さん、ご協力を心から

平成20年度 聖パウロ学園同窓会 決算報告書

平成21年8月23日

項目	予算	決算	増減	備考
収入の部				
前年度より繰越	1,895,369	1,895,369	0	
17期生会費	1,656,000	1,656,000	0	276名(H20年3月卒業)
懇親会費	60,000	44,000	-16,000	44名
預金利息	2,500	732	-1,768	
収入合計	3,613,869	3,596,101	-17,768	

支出の部

会報発行費	150,000	120,000	30,000	
通信費	550,000	530,000	20,000	
事務費	60,000	45,800	14,200	振り込み手数料、タックシール代
総会懇親会費	250,000	167,950	82,050	
慶弔費	100,000	0	100,000	
事業費	1,000,000	140,000	860,000	
積立金	400,000	550,000	-150,000	
予備費	1,103,869	0	1,103,869	
支出合計	3,613,869	1,553,750	2,060,119	

差引残高		2,042,351		
------	--	-----------	--	--

上記残高を平成21年度に繰り越します

以上、相違ありません。

監査の結果、相違ないことを認めます。

平成21年8月23日

平成21年8月23日

会長 和田 充史 ㊟

会計監査 小倉 雅文 ㊟

会計 土田 智史 ㊟

平成21年度 聖パウロ学園同窓会 予算案

項目	予算	前年度決算	前年度予算	備考
収入の部				
前年度より繰越	2,042,351	1,895,369	1,895,369	
18期生会費	1,926,000	1,656,000	1,656,000	321名(H21年3月卒業)
懇親会費	40,000	44,000	60,000	
預金利息	800	732	2,500	
収入合計	4,009,151	3,596,101	3,613,869	

積み立てを引いた額

支出の部

会報発行費	150,000	120,000	150,000	500部
通信費	550,000	530,000	550,000	官製はがき
事務費	60,000	45,800	60,000	封筒印刷、振り込み手数料
総会懇親会費	250,000	167,950	250,000	
慶弔費	100,000	0	100,000	
事業費	1,000,000	140,000	1,000,000	HP代、メールサービス等
積立金	550,000	550,000	400,000	
予備費	1,349,151	0	1,103,869	
支出合計	4,009,151	1,553,750	3,613,869	

平成21年度 聖パウロ学園同窓会総会及び懇親会報告

本年度の総会は、8月24日に40名あまりの人数を集めて、母校チャペルにて開催されました。総会は、まず和田会長の挨拶と、昨年度の事業報告、本年度の事業計画が説明されました。母校はテニスコートの改修や中学生の木製の机椅子の導入、中学新武道場の建設などが進められ、ますます発展していく母校が会長の言葉より紹介されました。その後、総会は馬場校長先生(同窓会名誉会長)からご挨拶をいただき、母校の様子や近況をお話いただきました。そして、引き続き会長から昨年度の決算報告と本年度の予算の説明がなされ、原案通り承認されました。(平成20年度決算と21年度予算については別表参照)。最後に事務局より同窓会のホームページ開設や同窓会会報のデジタル化についての説明がありました。

会はその後、場所を食堂に移し、懇親会に移り、和田会長、馬場校長先生よりご挨拶をいただき、母校の近況報告として学校紹介ビデオの観覧、出席教員の紹介、山川教頭先生より乾杯のご挨拶をいただきました。休日にも拘らずわざわざお越しいただいた先生方と昼食を共にしながら旧交を温める楽しい会となりました。



今回からビンゴゲームを開催しました。次回の総会も予定しています。豪華商品が!!



食事と久しぶりの再会で楽しい時間です。



母校の先生たちと楽しい時間を……学生のころを思い出しながら。

母校進学実績

京都大3名 大阪大1名 東北大1名
 神戸大1名
 京大・阪大・神大に2年連続現役生合格

母校学校行事

9月に高校2年生が北海道に修学旅行に行ってきました。思い出に残る4泊5日になりました。



6月に聖ペトロ・パウロ祝日ミサが厳粛な雰囲気の中行われました。



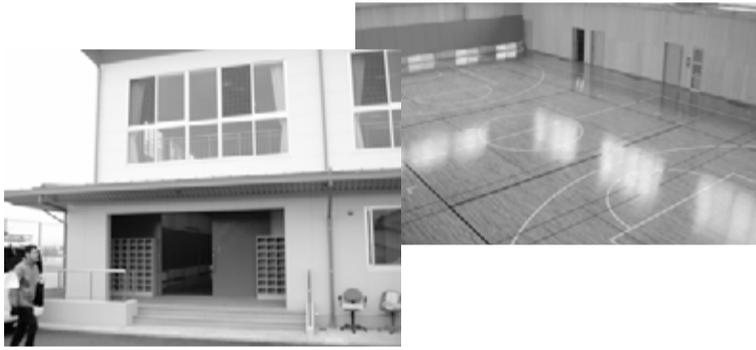
12月にインターアクトクラブが国際ロータリーから正式に加盟を承認されました。今後、同クラブの会員の生徒たちはさらなるボランティア活動と地域貢献をしていきます。



9月に体育大会が行われました。天気にも恵まれ楽しい時間になりました。



正門横に武道場が完成しました。主に中学生の授業やクラブ活動に利用されます。



テニスコートが人工芝になりました。テニス部の活動だけでなく、体育の授業でも生徒たちが楽しそうに利用しています。



平成21年度 部・クラブ活動成績

〔高校〕

男子バスケットボール

- 春季高等学校総合体育大会：優勝(5年連続6回目)
- 第56回近畿高等学校バスケットボール選手権大会：3位
- 全国高等学校総合体育大会：出場
- 秋季高等学校総合体育大会：優勝(6年連続6回目)
- 全国選抜優勝大会：出場



男子テニス

- 春季高等学校総合体育大会：優勝
- 団体戦：優勝
- (奥田、田中、石島、久保、南)
- シングルス：優勝(奥田圭都)
- 準優勝(石島知希)
- 3位(田中敏基)
- ベスト8
- (久保翔太)
- ダブルス：優勝(奥田、田中)
- 3位(久保、梅津)
- ベスト8(伊賀、南)
- 全国高等学校総合体育大会：シングルス、ダブルス：出場
- 近畿高等学校テニス選手権大会：シングルス、ダブルス：出場
- 秋季高等学校総合体育大会：団体戦：優勝(6年連続7回目)
- シングルス：優勝
- ダブルス：優勝
- 近畿高等学校選抜テニス選手権大会：出場



- **アイスホッケー**
- 全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会：北信越・中部・近畿地区ブロック予選会：3位
- インターハイ：出場



ラグビー

- 春季高等学校総合体育大会：優勝(2年連続2回目)
- 第89回全国高校ラグビー大会県予選：優勝(2年連続2回目)
- 第89回全国高校ラグビー大会：出場



陸上競技

- 第1回アジアユースゲームズ 陸上競技選手権大会
- 棒高跳び：優勝(4m81(日本代表 火狹翔))

サッカー

- 春季高等学校総合体育大会：2回戦敗退
- 秋季高等学校総合体育大会：1回戦敗退
- 春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会：1回戦敗退
- 秋季大会：4回戦敗退

バレーボール

- 春季高等学校総合体育大会：3回戦進出(ベスト16)
- 秋季高等学校総合体育大会：決勝トーナメント進出
- 2回戦敗退

女子バスケットボール

- 春季高等学校総合体育大会：1回戦敗退
- 秋季高等学校総合体育大会：2回戦敗退

女子テニス

- 秋季高等学校総合体育大会：団体戦 1回戦敗退
- シングルス：ベスト32(砂田明梨)
- ダブルス：ベスト32(片岡、砂田)

バドミントン

- 春季高等学校総合体育大会：男子団体戦 1回戦敗退
- 女子団体戦 1回戦敗退
- 夏季湖南ブロック大会
- 男子シングルス：優勝(片岡哲義)
- 女子シングルス：ベスト8(磯部里沙)
- 秋季高等学校総合体育大会：男子団体戦 1回戦敗退
- 女子団体戦 1回戦敗退

卓球

- 春季高等学校総合体育大会：男子団体戦 2回戦進出
- 男子ダブルス：ベスト16(峰松、長坂)
- 秋季高等学校総合体育大会：男子団体戦 2回戦進出
- 男子シングルス：ベスト16(長坂康平)
- 3回戦進出(植田、中濱、峰松)
- 男子ダブルス：4回戦進出(本郷、長坂)

剣道

- 春季高等学校総合体育大会：男子団体戦 1回戦敗退
- 女子団体戦 1回戦敗退
- 秋季高等学校総合体育大会：男子団体戦 2回戦敗退
- 男子個人 3回戦進出(山田圭祐)
- 4回戦進出(北川主税)
- 女子団体戦 1回戦敗退

放送

- NHK杯全国放送コンテスト滋賀県大会
- ラジオドラマ部門：優勝
- 朗読部門：準優勝(江田黎子)
- 秋季高等学校総合文化祭：ビデオメッセージ部門：準優勝
- 制作代表者：岩橋 制作協力者：西垣・中川
- 第34回全国高等学校総合文化祭：放送部門：出場

将棋

- 全国高等学校将棋選手権大会滋賀県大会
- 女子個人部：準優勝(杉田静香)
- 全国高等学校将棋選手権大会：出場

〔中学〕

テニス

- 滋賀県中学生テニス大会
- 男子シングルス：優勝(坂上良)
- 女子シングルス：3位(津田悠花)
- 男子ダブルス：優勝(坂上・稗島)
- オータムチャレンジシマツチ
- 男子シングルス：準優勝(坂上良)
- 女子シングルス：5位(津田悠花)
- トヨタジュニアテニス大会滋賀県予選
- 男子シングルス：優勝(坂上良)
- 女子シングルス：準優勝(津田悠花)

陸上

- 滋賀県中体連第3ブロック陸上競技選手権
- 100m 13秒8 3位(北川青海)

男子バスケットボール

- 秋季総合体育大会(オウタムチャレンジシマツチ)：ベスト4
- 中学男子バスケットボール部の山田和輝君が、日本バスケットボール協会の一環指導システム事業である「平成21年度U-15(15歳以下)男子トップエリート」に選出されました。身長195cmという恵まれた身体と、部活動で培った優れたプレーが評価されたもので、全国代表選手(全国選抜15名)として、今後のさらなる活躍が期待されます。



かがやくひとたち

第3回目は、本校15期生のチャベス・トレイシイさんです。トレイシイさんは5歳のときに家族と共に来日し、日本とペルーの両国のルーツをもち、外国人として日本で生活することの大変さを経験したことから、日本において外国人が共存できる社会の実現を目指してさまざまな講演会やフォーラムなどの活動をされています。また、スペイン語圏の外国人の生活や教育面でのサポート活動もされています。



15期生 チャベス・トレイシイ
私は2007年6月から9月の4ヶ月間、スペイン語および日本語通訳スタッフとしてNGO団体のピースポート

で国際交流を行うことが最も大切だと考えました。国籍を問わず一人の人間として、相手を認めるとき、初めて真の国際交流が成立すると強く感じました。滋賀県にはたくさんの方の外国籍の方がいます。今後ますます、国境を越えた真の国際交流が広まることを期待しています。

ピースポート

第58回「地球一周の船旅」航路

に参加しました。ピースポートとは、世界一周の船旅を通して、各寄港地のNGOや現地の人たちと国際交流を行うNGO団体です。また、船内では、さまざまな専門家をお招きし、グローバル問題に関する講座などが開催されています。このような活動を通じ、参加者により広い視野で世界の現状やグローバル問題に対する考えを持っていただくというのが最大の目的です。

このクルーズではアジアを起点に、中東・アフリカ・ヨーロッパ・北欧および中南米という海路に沿い、20各国を訪問しましたが、どの国とも興味深く、大変魅力的でした。ピースポートを通して、さまざまな国をめぐり、国籍や人種・言語・宗教を越えた貴重な交流を経験させていただきました。そこで私は改めて、やはり人間は皆平等であり、習慣・思想・外見上の違いが存在するのは当たり前であるということ、互いの多種多様性を尊重し、認め合った上

- 横浜→神戸→ダナン(ベトナム)→シンガポール(シンガポール)→コロン(インド)→アデン(イエメン)→アカバ(ヨルダン)→ポートサイト(エジプト)→ミコノス島(ギリシア)→ピレウス(ギリシア)→カタニア(イタリア)→ビルバオ(スペイン)→アムステルダム(オランダ)→コペンハーゲン(デンマーク)→ベルゲン(ノルウェー)→ダブリン(アイルランド)→ニューヨーク(アメリカ)→モンテゴベイス(コスタリカ)→
- プエルトリケ
- ツアル(グアテマラ)
- ↓バンクーバー(カナダ)→スワード(アメリカ)
- ↓ラスカ
- ↓横浜→神戸



クラブ活動報告

男子バスケットボール部

7年連続全国大会出場!!

男子バスケットボール部が、全国選抜優勝大会(ウィンターカップ)滋賀県予選において、7年連続7回目の優勝を飾りました。

また、北川弘君が最優秀選手賞、清水隆平君が優秀選手賞に選出されました。



男子テニス部

2年連続全国大会出場!!

男子テニス部が、滋賀県秋季高等学校総合体育大会において団体・シングルス・ダブルスのすべての部門で優勝し、完全制覇を成し遂げました。これで、団体戦での優勝は、6年連続7回目となります。

さらに、奈良県で行われた選抜テニス大会近畿地区大会でも団体戦で4位の成績をおさめ、3月に福岡県で開催される全国大会に2年連続4回目の出場を決めました。



アイスホッケー部

2年連続インターハイ出場!!

アイスホッケー部が、滋賀県立アイスアリーナでおこなわれた平成21年度全国高等学校総合体育大会・第59回全国高等学校アイスホッケー競技選手権大会(インターハイ)の北信越・中部・近畿地区ブロック予選会で3位となり、1月に北海道で行われたインターハイに2年連続での出場しました。

県内初開催となる予選会には本校生徒も多く駆けつけ、熱い声援を送りました。



ラグビーフットボール部

2年連続花園出場!!

ラグビーフットボール部が、第89回全国高校ラグビー大会県予選において2年連続で優勝を飾りました。

決勝戦の強豪・八幡工業高校戦では前半を終わってリードされる緊迫した展開ながら、自分たちの力を信じる選手たちは後半に逆転トライを決めると、追いつがる八幡工業を持ち前の粘りで突き放し、みごと勝利の栄冠を掴み取りました。

12月に近鉄花園ラグビー場で行われた全国大会に出場しました。



学校法人 聖パウロ学園より寄付金のお願い

企業・法人から本校への寄付金は、全額損金算入できます。個人から本校への寄付金は、所得控除が受けられます。ご寄付をお考えいただける際は、学校法人聖パウロ学園法人部(☎077-564-5600)へお問い合わせください。

企業・法人の皆様へ 私立学校への寄付金は全額損金算入できます。

- 私学事業団は、企業等法人から、随時、寄付金を受け入れ、これを寄付者が指定した学校法人(私立学校の設置者)に配布しています。
- この受配者指定寄付金は、法人税法上(昭和40年大蔵省告示第154号)、全額を損金に算入することができます。
- 金銭のほか、有価証券・土地・建物・機器備品等の寄付も全額損金に算入することができます。
- 私学事業団が取り扱う寄付金は、学校法人が設置する大学・短期大学・高等専門学校・高等学校・中学校・小学校・盲ろう養護学校・幼稚園・専修学校(授業時間数が2,000時間以上の高等課程または授業時間数が1,700時間以上の専門課程を設置するものに限る)への寄付金です。
- 次の場合は、この制度による寄付金の受け入れができませんので留意ください。
 - ・寄付者がその寄付により特別な利益を受ける場合
 - ・寄付金が学校教育に関連のない収益事業に充てられる場合
- 領収書の発行者が学校法人の場合は、「特定公益増進法人に対する寄付」となり、法人税法上の取り扱いが異なります。私立学校への寄付に当たり、寄付金支出額全額の損金算入を希望される場合は、私学事業団を通じたこの「指定寄付金」制度をご利用ください。
- 私立学校の窓口または私学事業団寄付金課まで、お気軽にお問い合わせください。

